

伊豆大島の火山活動*

Volcanic Activity of Izu Oshima Volcano

防災科学技術研究所**

National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention

2009年6月から2010年7月の期間における伊豆大島の火山活動の観測結果について報告する。第1図は当該期間中の伊豆大島の震源分布である。地震活動は比較的低調であるものの主に島内および北海岸付近の深さ10km以浅で地震活動が発生している。カルデラ内部の3km以浅では小規模な地震活動が続いており、低周波地震も散発的に発生している。

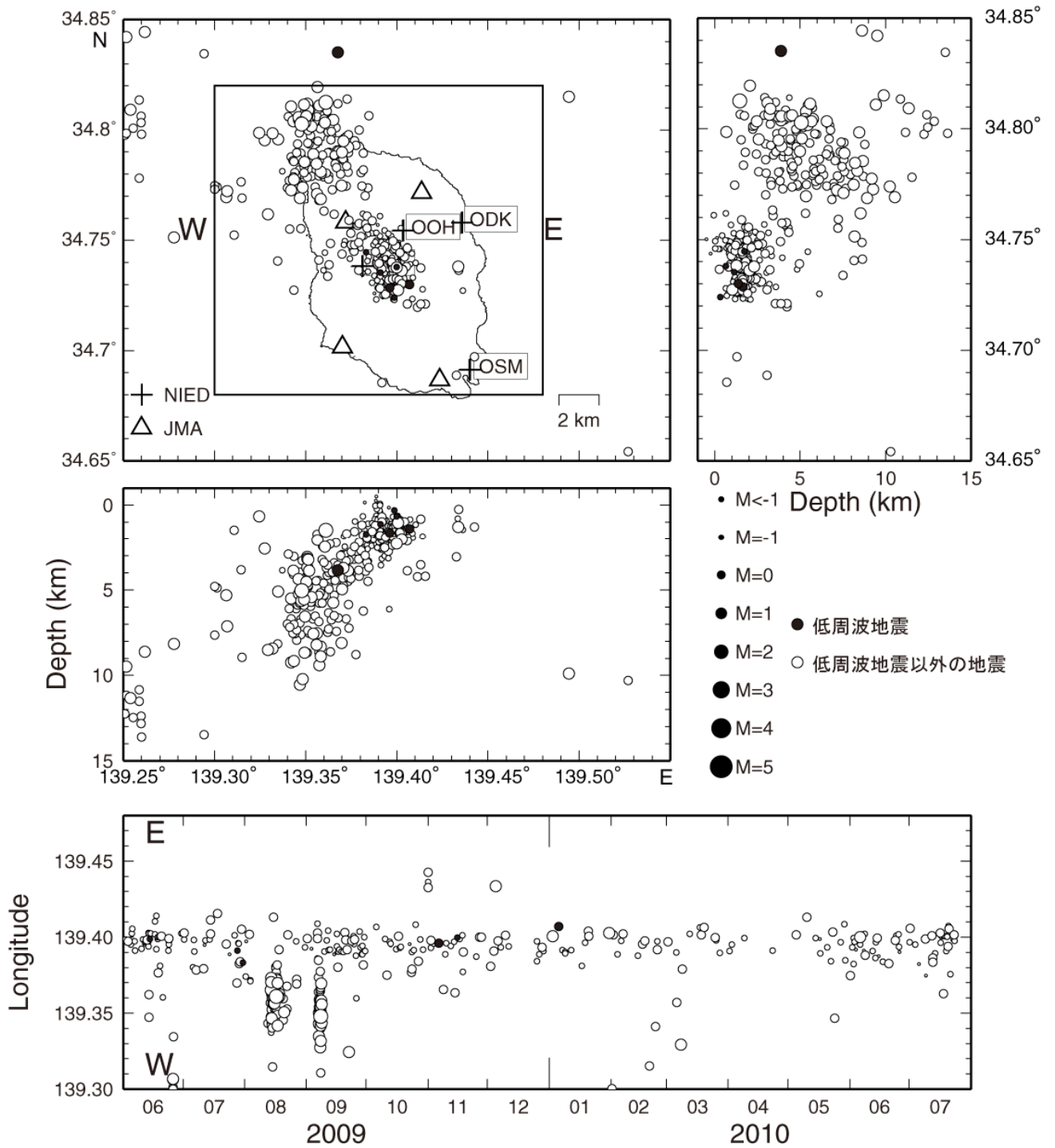
第2図は、防災科学技術研究所の伊豆大島火山活動観測網に設置した4ヶ所のボアホール式傾斜計のデータ（正時値）である。2010年5月から膨張を示唆するドリフト方向の変化が複数の観測点に共通して見られた。その他は火山活動に起因すると考えられる異常な変動は見られない。

*2010年7月30日受付

**上田英樹・藤田英輔・鶴川元雄

Hideki Ueda, Eisuke Fujita, Motoo Ukawa

伊豆大島の震源分布 (2009/6/1~2010/7/23, 15km以浅)



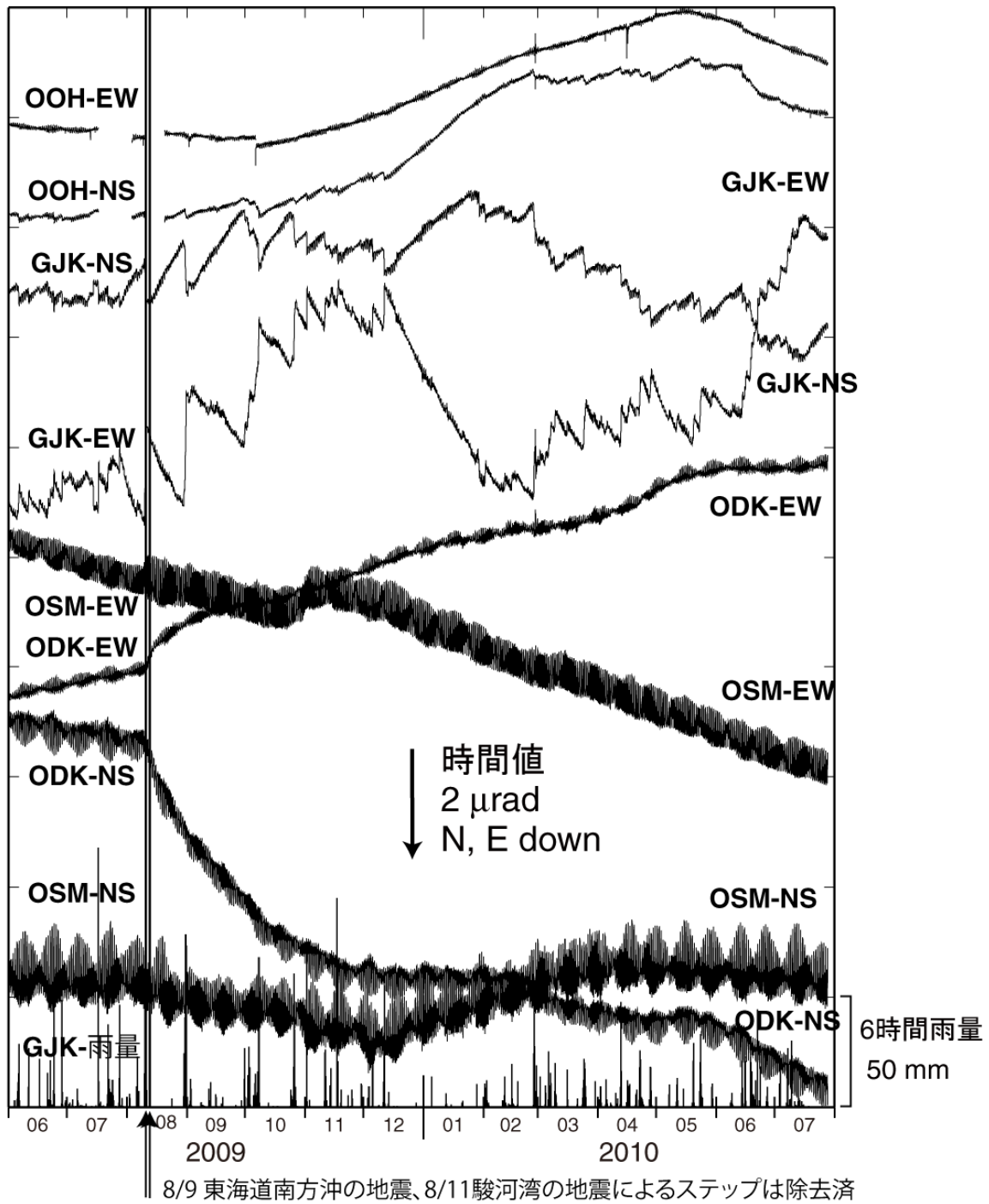
第1図 伊豆大島の震源分布および時空間分布図。低周波地震は●で示す。

表示期間は2009年6月1日~2010年7月23日。

Fig. 1 Hypocenter distribution around Izu-Oshima for the period from June 1, 2009 to July 23, 2010.

Solid circles indicate locations of the low frequency earthquakes.

伊豆大島の傾斜変動 (2009/6/1~2010/7/23)



第2図 防災科学技術研究所・伊豆大島火山活動観測網による傾斜変動観測結果。

表示期間は2009年6月1日~2010年7月23日で、表示データは時値(毎正時の値)。

Fig. 2 Tilt changes observed by the NIED Izu-Oshima volcano observation network for the period from June 1, 2009 to July 23, 2010 Hourly data are plotted.